

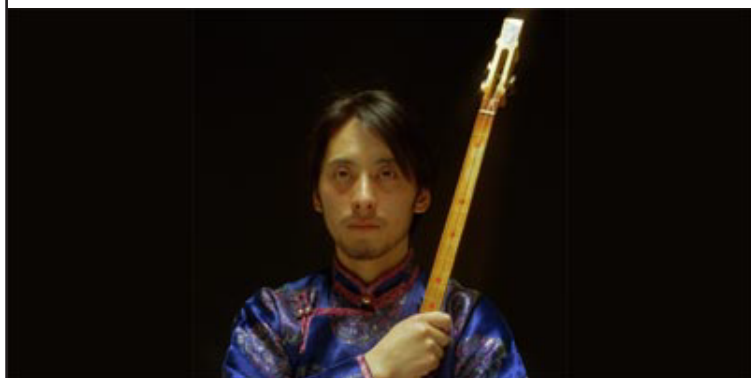
トゥバ民族研究家・演奏家

等々力政彦

トーク & ライブ

対談・コントラバス共演

瀬尾高志



等々力 政彦 (とどりき まさひこ)

トゥバ民族音楽演奏家。20年にわたり南シベリアで喉歌(フーメイ)などのトゥバ民族の伝統音楽を現地調査しながら、演奏活動をおこなっている。あがた森魚、朝崎郁恵、中孝介、安東ウメ子、井上鑑、EPO、太田恵資、OKI、押尾コータロー、古謝美佐子、鼓童、大工哲弘、常味裕司、一十三十一、吉川忠英、吉見征樹、Huun-Huur-Tu、Sun Ra Orchestra など内外のミュージシャンと共演、およびアルバム参加。嵯峨治彦(モンゴル民族音楽)とのユニット「タルバガン」、ササマユウコ・真砂秀朗とのユニット「生きもの音」で活動中。

2012

8/4(土)

レッドベリースタジオ
(札幌市西区八軒2条西1丁目)



開場 14:30 開演 15:00

予約・前売 2,000 円
当日 2,500 円



予約・お問い合わせ
011-633-2535

企画・協力
レッドベリースタジオ

共催
土曜はコトニ実行委員会
コトニ土曜大学

瀬尾高志 (せお たかし)

札幌在住のコントラバス奏者。元札幌首席コントラバス奏者の藤澤光雄氏に師事。2001年、キューバ、アメリカ各地を旅しながらセッション・ライブを重ねる。2006年、横浜ジャズプロムナードコンペティションに『石田幹雄トリオ』で出演し、グランプリと横浜市民賞を受賞。板橋文夫(pf) 竹村一哲(ds) 渋谷毅(pf) 林栄一(as) 高瀬アキ(pf) 齋藤徹(cb) 寺田町(vo) 酒井俊(vo) 奥野義典(as) 喜多直毅(vn) 加藤崇之(g) 一噌幸弘(能楽師笛方) 高岡大祐(tuba) スガダイロー(pf) 等共演者多数。また、2003年より札幌で十数本によるコントラバス集団『漢達の低弦』を主宰。ばんけいジャズフェス、横浜ジャズプロムナード、シンガポール WOMAD, RISING SUN ROCK FESTIVAL, PERCPAN(リオデジャネイロ、サルバドール) ASIAN IMPROVISATION ART EXCHANGE2010(ソウル) など国内外のフェスティバルに多数参加。独自の感性と探求心で、ジャンルの垣根なく演奏活動している。

こんにちは。レッドベリースタジオの近所、八軒在住のコントラバス奏者の瀬尾高志です。なぜこのようなライブを開催するかを話したいと思います。昨年の年末に、大阪から札幌に来ていた等々力政彦さんと飲んで話しました。北海道大学から助成金を貰ってトゥバの古地図の研究で世界中を飛び回っているようです。トゥバの方から音楽を教わり、自分は演奏家として生活している。何か御礼をしたいとの想いでトゥバの研究を続けているそうです。演奏家としても素晴らしく、札幌在住の嵯峨治彦(馬頭琴・喉歌(ホーミー)奏者)さんと二人でタルバガンというグループを組んでも活動をしています。この日の等々力さんの話は、とても面白く思わぬ方向に話が飛んでいきます。

トゥバ共和国についての話や、等々力さんが何故トゥバの研究をしているのか、トゥバとの出会いは?とか、その辺りの話もしてもらって、ライブも一緒にやりたいなと思いました。私自身がとても興味があるので、みなさんと一緒に話を聞けたら楽しいなと思ったんです。等々力さんのトゥバ話は、物理学の世界にも飛んでいきます。ノーベル賞を受賞した物理学者ファインマンもトゥバに魅了された一人です。なんででしょうか?等々力さんもファインマンに魅了された一人です。物理学の面白さを知った等々力青年がトゥバにのめり込んでいく話も興味深いです。等々力さんの話は様々な方向に膨らみ、行ったことも聞いたこともない世界を身近にしてくれると思います。そして、トゥバの音楽を皆さんと一緒に楽しめたらと思っています。

コントラバス奏者 瀬尾高志